

伊勢湾と周りの川の生きものたち

上流域

上流～中流は、川はばがせまく流れが急で、大きな岩がごろごろしています。きれいで冷たい水を好む生きものがすんでいます。



アマゴ 20cm (← サツキマス35cm)



カジカ 15cm



アジメドジョウ 7cm



アカザ 15cm



スナヤツメ 15cm



サワガニ 3cm



カワヨシノボリ 10cm

海と川を行ったり来たりする生きもの
 たいへん数が減っている生きもの
 外国から持ち込まれた生きもの

中流域

中流～下流は、川はばがひろがり、流れもゆるやかになります。川の石も丸くなり、淵や瀬が交互にあらわれます。



タモロコ 10cm



カマツカ 15cm



ネコギギ 13cm



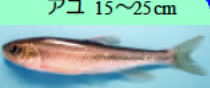
アユ 15～25cm



オイカワ 15cm



キンパナ 10cm



カワムツ 10cm



シマドジョウ 10cm

河口域・干潟・芦原

下流はさらに流れがゆるやかになり、町の中を流れます。川が海に向かって流れ出ている河口は、真水と海水がまじりあう場所です。海と川を行き来する生きものたちの玄関です。



テナガエビ 10cm



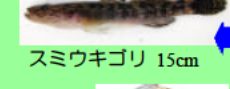
アユカケ 15～30cm



モクスガニ 15cm



ウナギ 60～100cm



スミウキゴリ 15cm



ホトトギスガイ 2cm



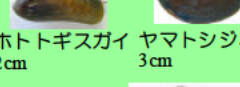
ヤマトシジミ 3cm



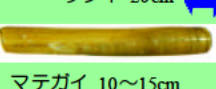
ウグイ 20cm



アサリ 3cm



イソシジミ 3cm



マテガイ 10～15cm



シオフキ 3cm



カレイ稚魚



イソシジミ 3cm



ハマグリ 5cm



絶滅種 ハリヨ
 わき水が減ったことが原因で、三重県からすたをけた

干潟(ひがた) 魚介類の育成の場として、自然浄化の場として、きわめて重要である。伊勢湾には、約1,100haが残存する。

細流、用水路、ため池



田んぼやため池、用水路は、昔から人間が自然に手を加えつつけてきた場所で、人間と共存してきた身近な生きものがすんでいました。しかしながら、コンクリート改修により、多様な環境が失われ、本流との行き来もできなくなったため、生物が激減しています。



タイリクバラタナゴ 10cm



カワヒガイ 10cm



アブラポテ 7cm



カネヒラ 15cm



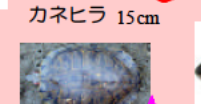
メダカ 3cm



マシジミ 2cm



ドブガイ 15cm



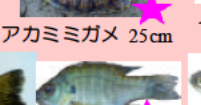
アカミミガメ 25cm



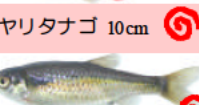
ヤリタナゴ 10cm



オオクチバス 25cm



ブルーギル 15cm



カワバタモロコ 10cm



伊勢湾

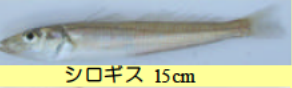
イワシ類など重要な水産資源の生息場であるとともに、幼稚魚の育成場としても重要な場所です。平成11年現在、イワシ類やコウナゴ、アサリなどを中心に年間4万6千トンの漁獲があります。



ヒイラギ 10cm



スズキ幼魚 10cm



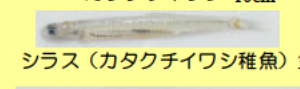
シロギス 15cm



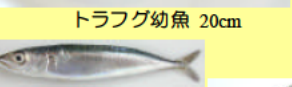
カタクチイワシ 10cm



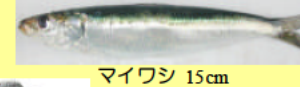
トラフグ幼魚 20cm



シラス(カタクチイワシ稚魚) 3cm



マサバ幼魚 15cm



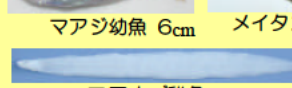
マイワシ 15cm



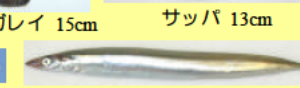
マアジ幼魚 6cm



メイタガレイ 15cm



マアナゴ稚魚 12cm



イカナゴ(コウナゴ) 10cm



スルメイカ(稚イカ) 15cm